

—軽費・養護老人ホームが地域ではたす「低所得や社会的孤立に寄り添う支援」を考える—

【主催】 独立行政法人福祉医療機構
 【開催日】 2019年9月20日（金）
 【会場】 新霞が関ビル・全社協灘尾ホール
 （東京都千代田区霞が関）

高齢化の進展に伴い、生活困窮による生活保護受給者の増大や社会的孤立など、介護以外の面で生活困難をかかえる高齢者が増加しています。居宅での生活が困難な低所得高齢者の受け皿として、無料又は低額な料金で入所が可能な軽費老人ホームや養護老人ホームが地域のなかではたしていくべき役割はますます重要になっていくと考えられます。

一方、軽費・養護老人ホームも他の社会福祉施設等と同様に人材の確保・定着が大きな課題となっているが、施設が地域住民や関係機関と連携して、高齢者の住み慣れた地域における生活を支えるなどの社会的役割を担っていくためにも、こうした課題にいち早く取り組んでいく時期にきているのではないのでしょうか。

本セミナーではこうした軽費・養護老人ホームの状況を踏まえ、地域ではたす「低所得や社会的孤立に寄り添う支援」をテーマに、施設と地域とのつながりの実践事例や人材の育成・定着の取り組みについて紹介していきます。

9:00～	受付
10:00～10:10 (10分)	オリエンテーション 開会のあいさつ 独立行政法人福祉医療機構
10:10～10:50 (40分)	「地域包括ケアシステム時代における 軽費・養護老人ホームが担っていく機能と役割（仮題）」 〈講師〉 厚生労働省 老健局 高齢者支援課
10:50～12:00 (70分)	「多様化する軽費老人ホームにおける人材育成 ～入居者の幅広のニーズに対応する福祉全般に係る知識の深化～（仮題）」 〈講師〉（福）寿考会 理事長 里山 樹 氏
12:00～12:10 (10分)	「福祉貸付事業の概要について（仮題）」 〈説明者〉 独立行政法人福祉医療機構 福祉医療貸付部
12:10～13:10	休憩（60分）～融資相談会～
13:10～13:50 (40分)	「多様化する養護老人ホームにおける人材育成 ～新人教育制度（エルダー制度）の確立による職員の定着の取り組み～（仮題）」 〈講師〉（福）清和園 常務理事 上田 忠裕 氏
13:50～14:00	休憩（10分）
14:00～15:10 (70分)	「養護・軽費老人ホームがはたす地域とのつながり ～入居者の自主性の発揮を地域の架け橋に～（仮題）」 〈講師〉（福）蓬愛会 理事長 大山 知子 氏
15:10～15:20	休憩（10分）
15:20～16:20 (60分)	「軽費・養護老人ホームの経営状況と地域共生社会の実現に向けて ～リスクからとらえた社会福祉法人制度改革～（仮題）」 〈説明者〉 独立行政法人福祉医療機構 経営サポートセンター シニアリサーチャー 千葉 正展

※ 講師および講義内容等に変更が生じる場合がございますので、あらかじめご了承ください。